瀬戸内市 不妊治療費助成金

瀬戸内市では、保険適用の不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、岡山県の補助金を活用し、不妊治療の費用の一部を助成します。

【対象となる方】 次の①～④の全てに該当する人

- ① 夫婦の少なくとも一方が、治療開始(治療計画作成)日から助成金を申請する日まで引き続き、瀬戸内市内に住所を有すること。
※夫婦とは…戸籍法上の婚姻届を行った夫婦。ただし、双方が婚姻の意思をもって生活を営んでいるが、婚姻届を行っていない事実婚関係にある場合に夫婦とみなされます。
- ② 市税を滞納していないこと。
- ③ 同一の不妊治療に関して、他の自治体から同様の助成を受けておらず、又は受ける予定でないこと。
- ④ 保険医療機関で保険適用される生殖補助医療を行うための治療計画の作成を受けていること。

【対象となる医療】

保険適用される体外受精及び顕微授精等の生殖補助医療(男性不妊治療を含む。)

※医療機関で治療計画の作成を受けている治療

※令和7年度は、令和7年4月1日以降に作成の治療計画が対象

※保険適用における年齢：回数制限

40歳未満：1子ごと6回まで
40歳以上43歳未満：1子ごと3回まで

【対象となる経費】

生殖補助医療として行われた1回の治療につき、医療機関や保険薬局へ支払った医療費

※ただし医療保険各法の規定により保険者から支給された高額療養費および保険者が定める規約等により支給された付加(附加)給付金等が該当する場合は、その額を差し引いた額

【助成額】

上記の対象となる経費 ※ただし、上限額は10万円とする。

$$\begin{array}{ccc} \boxed{\begin{array}{c} \text{助成額} \\ (\text{上限 10万円}) \end{array}} & = & \boxed{\begin{array}{c} \text{支払った医療費} \\ (\text{夫婦の合計額}) \end{array}} - \boxed{\begin{array}{c} \text{高額療養費および} \\ \text{付加(附加)給付金} \end{array}} \end{array}$$

限度額認定証やマイナ保険証を窓口で提示することで、高額療養費の現物給付を受けることができます。

【申請期限】

治療の終了後、自己負担額を支払った日の属する年度の末日まで

※やむを得ない理由で期限内に申請ができない場合は、必ず事前にご相談ください。

【申請に必要な書類】

- ① 不妊治療費助成金 交付申請書(様式第1号)
- ② 不妊治療費助成金に係る受診証明書(様式第2号) * 保険医療機関へ証明を依頼してください。
- ③ 不妊治療費助成金に係る調剤証明書(様式第3号) * 保険薬局へ証明を依頼してください。院外処方の場合。
- ④ 医療機関や薬局の発行した領収書・明細書の写し * 原本をお持ちください。市役所でコピーします。
- ⑤ 高額療養費や付加(附加)給付の支給決定通知書や限度額適用認定証など * 該当者のみ
- ⑥ 法律上の婚姻関係にあることを証明する書類 (⑧の確認書類と兼ねることができる場合があります)
 →例えば、住民票(状況により必要な記載事項があります)
 ・夫婦が同一世帯で、夫婦のどちらかが世帯主の場合は、続柄記載の住民票を提出してください。
 ・夫婦が同一世帯で、夫婦以外が世帯主の場合は本籍及び続柄記載の住民票を提出してください。
 ・夫婦が別世帯の場合は、各々の住民票に加えて戸籍抄本等が必要です。
- ⑦ 事実婚関係に関する申立書(様式第4号) * 助成対象の夫婦が事実婚関係にある場合のみ
- ⑧ 夫婦の住所が確認できるもの(⑥の確認書類、住民票と兼ねることができる場合があります)
- ⑨ 振込先口座(申請者名義に限る。)が確認できるもの(通帳、キャッシュカード、アプリ画面など)
- ⑩ その他、市長が必要とする書類 * 該当者のみ

<申請・お問い合わせ先>

瀬戸内市 こども・健康部 健康づくり推進課 TEL(0869)24-8061

〒701-4292 瀬戸内市邑久町尾張 300-1(市役所西庁舎1階)

※各支所・出張所では取扱いしていません。土・日・祝日・年末年始を除く平日 8:30~17:15の間